

“了2”の認知的意味について —心的走査の領域と方向性を中心に—

2024年7月20日(土)

大東文化大学大学院中国言語文化学専攻・外国語学部中国語学科共催

第27回国際シンポジウム

目次

- 1 本研究の目的
- 2 “了2”とは
- 3 本研究に至る経緯
- 4 大島(2023)未解決の課題
- 5 “了2”に関する最近の研究動向
- 6 “心理扫描”(心的走査)とは
- 7 「心的走査」:本研究の考え方(仮説1)
- 8 母語話者による内省と観察:Yuen Ren Chao(1968:691)
- 9 母語話者による内省と観察:蕭国政(2005:319-320)

10 蕭国政(2005)とYuen Ren Chao(1968)の対比

11 本研究の仮説

12 Yuen Ren Chao(1968)・蕭国政(2005)の検証

13 “了2”：“来着”との関わり

14 おわりに

主要参考文献

1 本研究の目的

認知言語学の観点から、助詞“了2”について、新たな解釈の可能性を探る

キーワード:

了2 認知言語学 心的走査 走査の領域 走査の方向性

- ・現代中国語“现代汉语”（“普通话”、“北方官话”）を対象とする。
- ・普遍的モデル(基本的原則)を理解することによる、多様な意味世界への統一的解釈を可能にする。
- ・仮説:「シンプルな原則が多用な意味を派生する」
- ・本研究は“了2”の認知的意味を「心的走査」によって説明を試みるものである。
- ・「“了2”は「心的走査」実行により得られた結果を、話者の結論、判断として示す標識である」ことを主張する。

2 “了2”とは

范晓蕾(2024)

- a. [谓词搭配] 小明是大学生了。我喜欢听京剧了。
- b. [祈使句中] 快起床了。
- c. [多次行为] 妈妈每天都会喝一杯茶了。我已经好几次反映这个情况了。

3 本研究に到る経緯

2022 第23回学術シンポジウム

大島(2022)「中国語における空間の文法化に関する研究—“了1、了2”の文法的意味を中心に—」

“了1”：Ⅰ ② 事態に対する動的走査：経過観察型

Ⅱ ① 事態に対する当事者現場立脚型視点

“了2”：Ⅰ ② 事態(事象)に対する動的走査：経過観察型

Ⅱ ② 事態(事象)に対する傍観者状況俯瞰型視点

2023 第26回学術シンポジウム

大島(2023) 「“了”のいる時といらぬ時」の解釈をめぐって—心的走査の観点からの考察—

2 大島2022に基づく“了1”、“了2”の定義 表2

了1	了2
<p>1 アスペクト助詞(動態助詞): 標識</p> <p>※「標識」としての“了”の意味: アスペクト(「地」)を「プロフィール」し、「図」としての「完了」に焦点を当てることを目的に、動作のプロセスに対し「心的走査(mental scanning)」を行う／行ったことを示す記号</p> <p>2 完了: [開始—進行—完了]</p>	<p>1 モダリティ助詞(語気助詞): 標識</p> <p>2 話者のある何らかの「モダリティ」を示す記号</p> <p>※①“怎么了?”(予期しない事態に直面し、「驚き・訝り・説明の要求」などを表す問いかけ⇔“怎么?”); ②“知道了。”(相手の置かれている状況、事情を汲み取り、相手から求められる行動を起こそうとする返答⇔“知道。”); ③“好了, 好了。”(納得していない相手に対し、なだめすかし、納得させ、一旦この場を納めようとする反応⇔“好, 好。”); ④“糟了!”(望ましい結果を得ようと努めていたにも関わらず、予期に反してひどい結末となってしまったことに対する表明、嘆き⇔“糟糕!”)</p>
<p>(1) 心的走査による事態把握: 心的走査の標識</p> <p>(2) 現場立脚型視点</p> <p>(3) 個別の動作、行為の過程を踏まえての発話</p> <p>(4) 「完了」を示すためには「起点・経路」が含意される</p> <p>(5) 事態発生時現在(過去・現在・未来)</p> <p>※“他吃了饭”が文として完結しないのは「事態発生時現在」が特定されない為と考えられる。大石1982、木村1997:172、高橋1999参照。⇒「文脈」依存: 非日常的な出来事を伝える場面であれば文として成立すると指摘</p>	<p>(1) 心的走査による事態把握: 心的走査の標識</p> <p>(2) 俯瞰型視点</p> <p>(3) 全体的な事態の推移、経緯を踏まえての発話</p> <p>(4) 話者の心的態度(モダリティ)を示すためには文脈、背景、理由が含意される</p> <p>(5) 発話時現在</p> <p>※三宅2010:196参照。“小王快要来了。”「本来已然義であるはずの“了”が、未来の未然の状況にも用いられるとしてこの枠(「もうすぐ～する」)を捉えるのは正確ではない。」</p>

4 大島(2023b)未解決の課題

- (1) 「心的走査」の対象・範囲をどう設定するか
- (2) 「心的走査」の方向性をどう考えるか
- (3) 「心的走査」が実行される原理

5 “了2”に関する最近の研究動向

專著

- ①范晓蕾2021 《普通话“了1”“了2”的语法异质性》、北京大学出版社。
- ②王 伟2021 《说“了”》、学林出版社。
- ③邵洪亮2023 《助词“了”》,北京语言大学出版社。

論文

- ④沈家煊·王伟2023 读赵元任讲“了”——纪念赵元任诞辰130周年、《中国语文》第6期(p. 643-657)。
- ⑤范晓蕾2024a 谈分析“了”的方法理念、《当代语言学》、第26卷第1期(p. 116-138)。
- ⑥张 黎·张熙宁2024 关于“了”研究的理念思考——兼论汉语语法研究理念的革新、《当代语言学》、第26卷第1期(p. 139-158)。

武果氏 (University of Western Sydney)

上記①、③、⑤、⑥で参考文献に取り上げられているのが下記武果(2007)である。

⑦ 武果2007 语气词“了”的“主观性”用法、《语言学论丛》第36辑 (p. 341-362)。

しかし、上記①、③、⑤、⑥の論述、主張に直接引用、言及されるには至っていない。

注目すべき認知言語学的研究

- ・武果2007には“心理扫描”が5か所に使用
- ・重要な概念であると思われるが、当該論文に定義が示されていない
- ・武果2007 の結論: 既に存在する事態S1を背景に、話者の新たな事態把握S2を空間、時間軸上の「変化」として捉えるのが“了2”の機能である。話者の判断が客観性と主観性の間を揺れ動くことで“了2”の多様な意味が解釈できる。

武果(2007)

“心理扫描”

- ①显然，从S1到S2的变化是说话人以S1为背景对当前情状的一种主观判断，是说话人**心理扫描**的结果（见3.2的讨论），而不是客观存在。（346）
- ②(6) a. 你一定是张太太了。 b. 这一定是恐龙蛋了。(6a)并不表示张太太的身份为新，而反映了说话人的判断并非直截了当，而很可能是经过对多个可能选项的**心理扫描**之后，得出的对听话人身份的新认识。（350）
- ③(10)于是得知，这三边，有一丛树，便有一户人家，有一片树，便是一个村庄，有一座树林，就应该是镇子或者县城了。（贾平凹《走三边》）按前面的逻辑，后面情况为必然推论。这里，“了”所表示的并不是对多种情状的**心理扫描**，而是按照上文逻辑的推理和论断，因此常常和表示推论的“就”同现。（351）
- ④也就是说，原来客观轴上实体的物理运动X，现在变成了主观轴上的**心理扫描X'**。（355）
- ⑤无论客观性变化还是主观性变化，其背景情状都在交谈双方的共识之中。它可以是某个特定情状变化前的状况，如下雨前的状态或汤在加盐前的味道；也可以是一个比较抽象的标准或说话人心目中的常态、其他人的观点、**心理扫描**的认知过程或是语境中特定的推理模式。（356）

6 “心理扫描”（心的走査）とは

辻幸雄編 (2013:185) 『新編認知言語学キーワード事典』

「静態的な場面に含まれる物体の形状などを捉える際に、われわれ概念化者（概念主体）はその形状を心的にたどっている。この作用のことを「心的走査」と呼ぶ。（中略）他に心的走査に関わる表現としては、ある物体の位置を特定するための経路を心的にたどる場合もある。（中略）さらに、物体や位置よりも抽象的な概念において心的走査が生じる場合がある。As body size increases, there are fewer distinct species（体のサイズが大きくなるにつれ、種の分化は小さくなる）／As body size decreases, there are more distinct species（体のサイズが小さくなるにつれ、種の分化は増える）（Langacker1999b:208）のようにカテゴリー間関係に対し心的走査を行うことにより、一種の主観的変化が描写されることもある。」

「順次的走査」と「総括的走査」

熊代敏行2013 「順次的走査 (sequential scanning)、総括的走査 (summary scanning)」、辻幸夫編『新編認知言語学キーワード事典』研究社 (p.163-164)

順次的走査 (映画のコマ送り)

総括的走査 (重層的静止画、山水画)

7 「心的走査」: 本研究の考え方(仮説1)

心的走査のモデル: 順次的走査(映画のコマ送り)

対象領域

- ①「記憶」
- ②「論理構造」
- ③ ①+②

心的走査の方向性: 参照点と対象の設定、推論に基づく**照合・突合、比較・対照**

- ④ 現在を起点として対象まで(記憶を遡る)
例: 肯定又发生什么意外**了**。(齐沪扬2007: 336); ②
- ⑤ 対象を起点として目標まで(時間の経過: 時系列に沿って)
例: “他是大学生**了**。”; ③

8 母語話者による内省と観察: Yuen Ren Chao(1968:691)

Yuen Ren Chao(1968:691-693)

The “phrase” *le*, or “particle” *le* is quite a different thing. The “particle”*le* occurs after a predicative adjective in several ways, all based on the function of *le* expressing a change to something new.

“particle” *le* : ①～⑤の解釈

(1) 昨天冷, 今天暖和了。 ① expressing a change

(2) 今天天晴; 昨天下雨了。 ② for past event

(3) 对了!

The *le* comes from idea ‘Now you begin to right.’

③ Other examples of the **new-situation** *le* after adjectives are:

(4) 东西贵了。 'Things are expensive **now**.'

(5) 他身体好了。 'His health is good **now**.'

(6) 汤冷了。 'The soup has got cold.'

④ to express excess over some expected norm instead of quality which was not there to begin with

(7) 这东西贵了。 ‘This thing is too expensive.’ **to excessively**

(8) 汤咸了。 ‘The soup is too salty.’

(9) 袖子长了。 ‘The sleeves are too long.’

⑤ some process of selection among possible candidates

(10) 这儿的医生当中牛医生最出名了。

which implies a **quick mental review** of all the doctors, and **arriving at** the conclusion about Dr.Niou ⇒ **心的走查**

(11) 他自己做错了又怪人最讨厌了。

9 母語話者による内省と観察：蕭国政(2005:319-320)

蕭国政(2005:319-320)

- (1) (他吃了饭没有?)吃～。表“已然”
- (2) (这苹果,你)把它吃～。表“消失”
- (3) 吃饭～, (快来!) 表“开始”
- (4) (你)别吃～! 表“继续”

-
- (5) (他)能吃～。 表“变化”
- (6) (衣服买)大～。 表“偏离”
- (7) (这个办法)最好～！ 表强调
- (8) (大叔！吃了饭再走。)不～！ 表委婉

10 蕭国政(2005)とYuen Ren Chao(1968)の対比

	蕭国政(2005)	Yuen Ren Chao(1968)
(1)	表“已然”	②for past event
(2)	表“消失”	
(3)	表“开始”	
(4)	表“继续”	
(5)	表“变化”	①expressing a change
(6)	表“偏离”	④to express excess over some expected norm instead of quality which was not there to begin with
(7)	表强调	
(8)	表委婉	
		③ new-situation
		⑤ some process of selection among possible candidates

11 本研究の仮説2

- ・武果(2007:343)が述べるように、“了2”の使用に当たっては、発話の前提となる、「ある何らかの事実や話者の認識S1」が聞き手と共有されなければならない。
- ・話者は、既存のデータ(旧情報S1)を参照点として、発話の対象までの推移を心的走査する参照点構造が適用される。
- ・対象領域におけるサーチは、①照合・突合、②比較・対照を意味する。

(1) 你放心吧，抽屉我已给安上锁了。(齐沪扬2007： 333)

前提： 聞き手は机の引き出しに鍵を掛けていないことを不安に思っている。(S1)

発話： 自分が代わりに鍵を掛けておいてあげたので、心配いらぬ事を伝える。

・サーチするためにアクセスする領域は①記憶、②論理構造、③①+②。方向性は水平軸、①現在を起点として対象まで(記憶を遡る)、②対象を起点として目標まで(時間の経過:時系列に沿って)。

・心的走査の結果得られた認識・結論は新情報S2として発話される。

・“了2”は「心的走査」実行の標識である。

(2) 破老汉望着山脚下的那眼窑洞。窑前，亮亮妈正费力地劈着一疙瘩树根；一个男孩子帮着她劈，是亮亮。“我看你就把她娶了吧，她一个人也够难的。再说就有人给你缝衣裳了。”（史铁生《我的遥远的清平湾》）（破じいさんは、山裾のあの窑洞を眺めていた。家の前では、亮亮のお袋がこぶだらけの木の根を力まかせに割っているところだった。ひとりの男の子が手伝っている。亮亮である。「あの人を嫁にもらったら。女手ひとつじゃ暮らしがきついし、それにあんたにだって、家事裁縫をしてくれる人がいる」檜山久雄訳P.23）

前提(根拠) (1) 独り身の“破老汉”は、夫を亡くした“亮亮妈”を気に入っている。(S1)

(2) 身の回りの世話をしてくれる人がいない。(S1)

発話(判断・結論) (1) 結婚相手に相応しいのでお嫁にもらったらよい。(S2)

(2) 身の回りの世話を焼いてくれる人可以できる。(S2)

12 Yuen Ren Chao(1968)・蕭国政(2005)の検証

蕭国政(2005)		Yuen Ren Chao(1968)	
(1) (他吃了饭没有?)吃～。表“已然”	照合	(1) 昨天冷, 今天暖和了。	变化・比較
(2) (这苹果, 你)把它吃～。表“消失”	照合	(2) 今天天晴; 昨天下雨了。	照合
(3) 吃饭~, (快来!) 表“开始”	照合・变化	(3) 对了!	照合
(4) (你)别吃~! 表“继续”	照合・变化	(4) 东西贵了。	比較
(5) (他)能吃～。表“变化”	照合・变化	(5) 他身体好了。	比較
(6) (衣服买)大～。表“偏离”	比較	(6) 汤冷了。	比較
(7) (这个办法)最好~! 表强调	照合・比較	(7) 这东西贵了。	比較
(8) (大叔! 吃了饭再走。)不~! 表委婉	照合・变化	(8) 汤咸了。	比較
		(9) 袖子长了。	比較
		(10) 这儿的医生当中牛医生最出名了。	照合・比較

13 “了2”：“来着”との関わり

《现代汉语词典（第七版）》2015:773 “来着”：〈口〉助词：表示曾经发生过什么事情

- (1) 你**刚才**说什么～？
- (2) 他**去年冬天**还回家～。
- (3) 你忘记**小时候**爸爸怎么教导咱们～。

既存の事実を見る視点：発話時を起点（参照点）とする

視点の方向性：反時系列

- cf. (4) 昨天我头疼**了**。
- (5) 你昨天做什么**了**？

《汉语三百句》 1980北京语言学院

(6) 你昨天晚上干什么**来着**? 一昨天晚上我在安娜那儿谈天**来着**。(178)

来着: aspectual particle used to indicate an action that took place in the past.

《口语初步》 1981北京语言学院

(7) 他刚才说什么**来着**?

(8) 去年他还学日语**来着**, 你知道吗?

INTERMEDIATE SPOKEN CHINESE 《中级口语》 原如刚·李杨 1983外文出版社

(9) 尼科尔没进城, 刚才我还看见他**来着**。

(10) 这件事他好象说过**来着**。

(11) 字典刚才还在这儿**来着**, 怎么转眼就不见了?

14 おわりに

- ・認知言語学における「心的走査」という概念の萌芽は早くもYuen Ren Chao(1968:691)⑤にうかがえる。
- ・「心的走査」とは「参照点構造」と密接に関わる概念であり、すべての認知活動(事態把握、言語化)にとって基本的な概念である。
- ・「起点、経路、着点」が設定される限り、この3点を巡り参照点構造の設定がなされ、心的走査が実行される。
- ・現実の空間における心的走査の典型的事例は「方向・方位」に関する言語化において見られる。中国語における位置移動表現が極めて多彩であるのは、中国語母語話者が認知的傾向として「心的走査」を好むことを示している。
- ・文末に使用される助詞“了2”も、「心的走査」の標識として使用されるのは、「位置移動表現」がメタファーとして心理空間に適用されていると解釈することが可能である。

・参照点構造は、中国語の情報構造を理解する上で、極めて有効な概念であり、中国語の語順の原則を貫く「時系列(“時間順序”）」と緊密な関係にある。例えば、「主語、主題、話題、主格、動作主、主体」など多様な名称で呼ばれる文頭の成分も参照点構造として提示される既知の情報であることが理解される。

・言語化された「時系列(“時間順序”）」は、「心的走査」の言語化であり、「参照点構造」を連続的に生み出すメカニズムでもある。

・「時系列(“時間順序”）」が標識を持たない広義の因果関係に基づくとすれば、“了2”という標識によって指し示されるCommentは、暗黙(言外)の前提に対する「結果表現」である。

・「時系列(“時間順序”）」を形成する前件と後件は「地」と「因」の関係にある。

・比較文における“了2”は「比較の結果」を表す。比較文こそ参照点構造である。

例：“昆明湖的名字一直沿用至今，只不过现在看到的山和湖是经过乾隆年间扩湖堆山修整过的，**比郭守敬时代要大了不少。**”（崔岱远《京范儿》14）

「時系列」の例：

副食店里别看货杂，却杂而不乱，不同的货色分门别类码放在不同柜台。四指多厚的猪肉五花三层，整片子摆放在宽阔的案板上。一般人家一次也就买个两毛钱的。穿着深蓝色大褂的售货员大妈非常精准地切下薄薄的一大片，有肥有瘦，啪的一声放在秤盘子上称，不多不少正合适。之后，用一种能看出木纹的刨花纸包好了递过来，够一家人美美吃上一顿炒菜的。（崔岱远《京范儿》100）

・“了2”は“来着”の意味範囲をカバーするため、“来着”の使用範囲は北方方言〈口〉に制約される。

・**認知的意味構造**

- ① 心的走査：認知行動
- ② 参照点構造：認知的操作
- ③ 時系列：認知的観察
- ④ 地(背景)と図(前景)：認知的観察
- ⑤ 因果関係：認知的評価
- ⑥ **変化**：[+心的走査][+比較・対照]：認知的解釈

・通時的研究は今後の課題である。近代漢語における“来”、文言の助辞“矣”との関連性について検討する必要がある。

主要参考文献：日本語

大島吉郎2022 「中国語における空間の文法化に関する研究(初稿)—“了1、了2”の文法的意味を中心に—」、2022年7月24日大東文化大学第23回学術シンポジウムレジュメ。

大島吉郎2023a 「中国語における空間の文法化に関する研究(初稿)—“了1、了2”の文法的意味を中心に—」、大東文化大学大学院『中国言語文化学研究』第12号(p.89-108)。

大島吉郎2023b 「“了”のいる時といらぬ時」の解釈をめぐる—心的走査の観点からの考察」、
2023年11月20日大東文化大学第26回学術シンポジウムレジュメ。

尾谷昌則2019 「参照点」、朝倉書店『認知言語学大事典』(p.325-335)。

河野直恵2012 「“才”と“了”の共起関係について」、『中国語學』第249号(p.196-210)。

鈴木昭宏・川合信幸2024 『心と現実 私と世界をつなぐプロジェクトの認知科学』、幻冬舎。

熊代敏行2013 「順次的走査(sequential scanning)、総括的走査(summary scanning)」、辻幸夫編『新編認知言語学キーワード事典』研究社(p.163-164)。

主要参考文献：中国語

- 陈前瑞2005 句尾“了”将来时间用法的发展、《语言教学与研究》第1期(p. 66-73)。
- 戴浩一1988 时间顺序和汉语的语序(黄河译)、《国外语言学》第1期(P. 10-20)。
- 戴浩一2011 再论时间顺序原则、崔希亮主编《认知语法与对外汉语教学论集》北京语言大学出版社(P. 65-85)。
- 戴耀晶1994 “了”在表示未来意义句子中的用法、余志鸿主编《现代语言学》语文出版社(P. 114-122)。
- 范晓蕾2021 《普通话“了1”“了2”的语法异质性》、北京大学出版社。
- 范晓蕾2024a 谈分析“了”的方法理念、《当代语言学》、第26卷第1期(p. 116-138)。
- 范晓蕾2024b 句末助词“的”的功能分类及语义演变、《汉语学报》、第2期(p. 2-14)。

李小凡1996 与助词“了”相关的两种多义句式、罗振声·袁毓林主编《计算机时代的汉语和汉字研究》(p. 25-34)

刘勋宁2002 现代汉语句尾“了”的语法意义及其解说、《世界汉语教学》第3期(p. 70-79)。

吕文华1983 “了”与句子语气的完整及其它、《语言教学与研究》第3期(p. 30-39)。

齐沪扬主编2007 《现代汉语》、商务印书馆。

邵洪亮2023 《助词“了”》，北京语言大学出版社。

沈家煊·王伟2023 读赵元任讲“了”——纪念赵元任诞辰130周年、《中国语文》第6期(p. 643-657)。

王维贤1991 “了”字补议、《语法研究和探索(五)》语文出版社(p. 197-214)。

王 伟2021 《说“了”》、学林出版社。

王学群2004 对了的一点私见、竟成主编《汉语时体系统国际研讨会论文集》百家出版社(p. 252-271)。

吴凌非2002 论“了1”和“了2”、《语文研究》第1期(p. 23-27)。

武果2007 语气词“了”的“主观性”用法、《语言学论丛》第36辑(p. 341-362)。

武果·吕文华1998 “了2”句句型场试析、《世界汉语教学》第2期(p. 13-21)。

萧国政2005 现代汉语句末“了”意义的析离、《汉语语法的事实发掘与理论探索》湖北人民文学出版社(318-326)。

燕燕2002 “了2”类析、《汉语学习》第3期(p. 44-46)。

张黎·张熙宁2024 关于“了”研究的理念思考—兼论汉语语法研究理念的革新、《当代语言学》、第26卷第1期(p. 139-158)。

主要参考文献：英文

Yuen Ren Chao 1968 *A Grammar of Spoken Chinese*. University of California Press

Wu, Guo 2000 The Origin of the Chinese Discourse Particle *LE*. *JCLTA* Vol35:1, 29-60. (未見)

Wu, Guo 2001 A New Approach to an Old Problem : on Chinese Discourse *LE*. In Husken, Frans & Dick van der Meij (Eds.), *Reading Asia : New Research in Asia studies* , pp.261-278. Richmond: Curzon Press (未見)

ご清聴ありがとうございました